



社協ひこね

【第188号】

平成28年2月1日発行

編集と発行

社会福祉法人
彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670
TEL 22-2821 FAX 22-2841
ホームページアドレス
<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



この広報紙の一部は、赤い羽根共同募金の配分金やみなさまからの会費で作成しています。



▲日常で見かけられる何気ない一コマにぜひ、気づかいのひと声を。ご近所同士の心の距離を近づけるチャンスです

気づかいのひと声「あいさつプラスOne運動」^{ワン}

「子どもに『あいさつしなさい』って言う前に、大人同士がもっとあいさつをせんとアカンなあ」

昨年から今年にかけて、本会が市内19学区・地区の住民さんに声をかけて一緒に行っている「住民福祉懇談会」でよく聞かれる言葉です。あいさつを交わすことが少なくなったことで、身近な住民同士の関係も希薄になり、「淋しい世の中になった」という声も聞かれます。そこで本会では、地域に暮らす住民があ互いに気にかけ合う関係をつくる第1歩として、あいさつを交わす時にひと声添えようという「あいさつプラスOne運動」を進めています。

「いってらっしゃい。気を付けてね」など相手を気づかうひと声が、「あなたのことを気にかけていますよ」というメッセージになり、お互いの心の距離も近づくのではないかでしょうか。

(2ページも併せてご覧ください)

★トピックス★

- ①「あいさつプラスOne運動」^{ワン}
進めています！
(詳細：1、2ページ)
- ②平成27年度
彦根市社会福祉大会の報告
(詳細：4、5ページ)
- ③大人用オムツお分けします
(詳細：8ページ)

視覚障がいのある方に向け、点字版・音訳（テープ録音）による「社協ひこね」の貸し出しを行っています。ご希望の方はご連絡ください。



「あいさつプラスOne」運動 展開しています!

みなさん、「近所の方々と田舎からお話ししているですか？」
もしかしたら、「昔と比べて少なくなったな」「誰がどの家の人が分からん」という方もおられるのではないか

でしょうか。

最近では個人情報やプライバシーの保護が頻繁に叫ばれるようになつたために、人と関わることが難しいと感じる方もおられるかも

しません。
そういうことから、身近な地域やご近所で困っている人を見かけた時に「何かお手伝いできないかな」と思つても、「じりんおせつかいと思われたらなあ…」と考えためらつてしまつ」とも少なくないようです。

一方、「他人に迷惑をかけられない」とか、「助けてもらつたら助け返さないと…」と、人の好意が時に負担に感じられるという声もよく聞かれます。

しかし、自分のことを気にかけてくれる誰かの存在は、地域で暮

らしていく上で心のよろといいものになります。

そこで彦根市社会福祉協議会では、昨年度に策定した「彦根市地域福祉活動計画」において、地域で暮らしていく中で住民同士があ

互いに気にかけ合う第一歩として「あいさつプラスOne運動」を進めていくことを掲げました！

ご近所の方々にいろいろ話しかけるのは難しくとも、上のイラストのように、普段のあいさつや回覧板などを手渡す際に「お元氣ですか?」とか「カゼ引いてへんか?」など、何気ない気づかいのひと声をかける。「あいさつ」に「プラスOne」したひと声が、人知れず悩んだり困ったりしている人たちへの「あなたのことを気にかけているよ」というメッセージにつながります。

子どもからい年配の方まで、気づかいのひと声をかけ合える温かいまち彦根を、私たちみんなで作りましょう！

臨時福祉給付金の申請受付期限が迫っています。

申請期限 平成28年2月15日（月）

対象の人には、「お知らせ」と「申請書」を郵送しています。申請期限を過ぎると、給付金を受け取ることできません。

問い合わせ先 彦根市役所臨時給付金支給室 ☎22-1411（内線376） FAX 22-1398



子育て中のあなたへ

メッセージ for You



今まさに、子育て中のあなたを応援するため、市内のさまざまなお子育て支援団体などの紹介や、関係者、子育ての先輩からのメッセージをお届けするコーナー。

今回は「彦根おはなしを語る会」さんの素敵なお活動内容など、いろいろお伺いしました！

聞き手（以下、聞）：はじめに、どのような活動をされているのか、教えてください。

おはなしを語る会（以下、お）：

市内の保育園や小中学校、図書館、介護施設などへ絵本の読み聞かせやお話を語りにいっています。

この「語り」というのは、お話を覚えて、目の前にいる人に生の声で語ることです。聞く人には言葉で頭の中に場面を思い浮かべてもらい、お話を楽しんでもらいます。

保育園には月に1回行き、クラスごとに担当を1人決め、年少時からずっと同じクラスに関わることで、子どもたちの成長に応じた絵本やお話を選んでいます。

小中学校には、「朝読」の時間にお話を語っています。

図書館では月1回、「昔ばなしを聞くつどい」で、昔話や物語を語り、わらべうた等もしています。（左下の「お知らせ」参照）小学生以上の子どもの参考書では月1回、「おはなしを聞くつどい」で、昔話や物語を語り、わらべうた等もしています。（左下の「お知らせ」参照）

また、図書館では年に1回「絵

本講座」を行っています。これは、「何で本を子どもに読まなければいけないの？」といった話から本選びのアドバイス等をしています。

市内の公民館などで行われているすぐそく教室・のびのび教室でも、来られた方に絵本の選び方や楽しみ方をお伝えし、親御さん自身にも楽しんでもらえるよう心がけています。親御さん

の癒しになれば、その子どもにもよい影響があると思っています。一方で、小中学校の読書ボランティアさんの養成講座も行っています。こちらも本の選び方を中心に、本の読み方から生徒さんへの対応に関する悩みなどをボランティアの話を聞くこともあります。

一方で、小中学校の読み聞かせは「絵本を通して子どもとの会話」であるとお伝えしており、本を使った会話を楽しんでもらえればと思っています。よく「読み聞かせで言葉を覚える」とか「想像力を育てる」と言いますが、それは1番の目的ではありません。親御さんは特に、それまでの経験をもとに想像を大きく膨らませることで、安心して自分が想像したことでは、安心して自分が想像します。まずは、親御さんが小さい頃、誰かに読んでもらって「楽しい」と感じた絵本を通して、子どもとの会話を楽しんでいたた

きます。親御さんは、無理のないペースでゆっくり読んでいただき、子どもから声や言葉が出たら耳を傾けてあげてください。それができるのはやはり家族ですね。メッセージをお願いします。お子さんは基本的にお話を好



▲「語り」中の1シーン
話し手さんの「生の声」で子どもたちの想像力が膨らみ、一緒になって手を振る子どもさんの姿も見られます(^_^)

<お問い合わせ先>

「彦根おはなしを語る会」：辻 まゆみさん
TEL：090-8579-9701



<お知らせ>

「昔ばなしを聞くつどい」
○毎月第3土曜日 14時より
市立図書館にて行っています。
○子どもから大人の方まで、興味のある方なら
どなたでも自由におこしください！

きという性質を持つていて、お話を聞いていないようでも、お話を聞いているものです。だから、少しずつでも読み続けてあげてください。そして、子どもから出た言葉や話しを大人が聞くこと、子どもの中に「聞く」という姿勢ができる、いろいろな話に耳を傾けられるようになるとと思いますよ。

「世の中で1番大きなものは頭の中」という人がいます。子どもは特に、それまでの経験をもとに想像を大きく膨らませることで、安心して自分が想像します。親御さんが小さい頃、誰かに読んでもらって「楽しい」と感じた絵本を通して、子どもとの会話を楽しんでいたたければと思います。

開催しました!

平成27年度彦根市社会福祉大会



11月21日(土)、ビバシティにて、市内の多様な福祉活動の紹介や福祉課題に対する理解と活動への参加促進を目的として、「彦根市社会福祉大会」を開催しました。

大会では、地域福祉活動に貢献された方々への表彰、続いて、住民福祉活動を実践されている方々から、これからの中づくりへのヒントとなる貴重なメッセージを発信していただきました。

基調講演 “私たち”一人ひとりが大切にされるまちのために



龍谷大学社会学部 地域福祉学科
特任教授 岡野 英一 先生

“築き上げる福祉”の時代へ

地域に存在する孤立死や介護、子育てなどさまざまな生活課題・福祉課題を解決するために、多様な人が共に生き、連携する社会づくり、すなわち「地域福祉」が注目されています。

その「地域福祉」を進めるため、昨年度、彦根市社会福祉協議会を中心に『彦根市地域福祉活動計画』が策定されました。また、各学区地区では今、『住民福祉活動計画』の策定が進められています。この2つの計画は、自分たちのまちを、福祉をどうするか、その「方向性」を定めるものです。

制度で定められた各種サービスだけでは解決できない生活課題・福祉課題に対し、今まさに、私たちの手で活動を創っていく“築き上げる福祉”の時代になってきました。

パネルディスカッション

「ひこねの良いとこ再発見」



佐和山学区住民福祉懇談会メンバー
中野 猪平さん

「住民同士のつながりを大切に活動しています」

昨年、佐和山学区の「住民福祉活動計画」を、自治会長を始め各分野の方と作成し、あらためて住民同士のつながりを大切に活動していくようになりました。

学区には32の自治会があり、それぞれに応じた自主的な福祉活動を、住民とボランティアを中心に進められています。子育ての応援から高齢者への支援、身体障がい者への理解促進などを行いながら、住民みんなが幸せに過ごせればと思います。

「今は地縁の大切さと楽しさを味わっています！」

花田地区は開出今町蔵の町団地、甘呂町、開出今町の三集落で構成され、住民の多くが幼馴染であり、行事や農地のお手伝いなど共に、互いに助け合ってきました。

懇談会を通して、地域の良いところ、気になるところなどを再確認し、メンバー間で共有することができました。「遠くの親類より近くの他人」ということで、地域の人とつながることの大切さと楽しさを味わっています。



花畠地区住民福祉懇談会メンバー
北川 孫雄さん

「力まずゆったりと取り組んでいきたいです」

この町で、これからもずっと笑顔でいきいきと暮らし続けていけるよう、私たち自らが健康や地域の課題について学び話し合うことを大切にしていきたいと考えています。

気負うことなく楽しみながら「健康と介護予防のつどい」や「日陽いきいき室（サロン）」「園児と高齢者の交流」などの取り組みをすすめ、そうした中から、互いを気にかけあいなごみあう関係が育めるといいなと思っています。



日夏地区住民福祉懇談会メンバー
志萱 延吉郎さん

彦根市長表彰

自立更生者

岸田 清次 様
前川 真奈美 様
田口 守 様

更生援護功労者

岩崎 美紗子 様

彦根市社会福祉協議会 会長表彰・感謝

社会福祉事業功労者（表彰）

北川 壽彦 様

社会福祉事業功労者（表彰）

大森 修太郎 様

社会福祉事業功労者（表彰）

前田 稔 様

社会福祉事業功労者（表彰）

岸田 昌和 様

社会福祉事業功労者（表彰）

中村 修太郎 様

社会福祉事業功労者（表彰）

大森 優 様

地域福祉等の社会福祉活動に貢献し、他の模範となつている方々をはじめ、長年にわたり社会福祉の向上に寄与された方々へ表彰状および感謝状の贈呈を行いました。



表彰状・感謝状の受賞者はご覧の方々です。
みなさまありがとうございます！

社会福祉事業協力者（感謝）

滋賀県グラウンドゴルフ協会 様

エフエムひこねコミュニティ放送株式会社 様

株式会社フタバヤ 様

昭和電工ユニオン彦根支部 様

彦根商工会議所 様

大阪ガス株式会社 大阪すずらん会 様

小野 敏信 様

大阪ガス株式会社 大阪すずらん会 様

お知らせ

出会い ふれ合い 支え合い

民生委員
児童委員
の活動福
枝
民
児
協

◎「稲枝フェスタ」キッズコーナーで活躍

キッズコーナーは、輪投げ、ヨーヨー釣りとシンプルな遊びですが、多くの子ども達は喜んで遊びに来てくれました。

また、主任児童委員が家庭にあるものでおもちゃ作りを指導、親子連れで一生懸命絵を描いたり、テープで接着したりして、出来上がった紙コップロケットが高く飛び毎に、親子で喜んで頂きました。

〔本件担当〕

松清健勇

TEL 43-6479

城
陽
民
児
協

◎広がっています。地域の輪

昨年の子育て支援活動『夏休み体験学習』は、「勾玉作り」と「手作りカレー」で大盛況でした。高齢者向け『ふれあいサロン』は「健康講座」「防災の話」「3B体操」「歌と踊りの江戸音頭」と盛り沢山で多くの方に楽しんでいただきました。今年も皆様に楽しんでいただける催しを企画中です。委員一同お待ちしております。

〔本件担当〕

寺村知子

TEL 25-1641

亀
山
民
児
協

◎高齢者の皆さん的心と心をつなぐ『ふれあいの集い』

亀山学区では、「一人暮らしをされている高齢者の皆さん毎日、少しでも潤いと変化を！」を合い言葉に、毎年工夫を凝らした『ふれあいの集い』を開催しています。

昨年は、懐かしい歌やマジックショーを楽しんだ後、警察の方から安全な暮らしの智恵を学びました。じゃんけんゲームでは歓声が上がり、おいしい料理に舌鼓しました。素敵な笑顔と楽しいおしゃべりに花が咲いた、和やかなひとときでした。

〔本件担当〕 大方晃顕 TEL 28-1993



**仲間とはじめる！
「コツコツ続ける金龜（根気）体操」**

主30分程度の体操です。現在57歳の自分が立ち上がりながら、椅子や床で気軽にできる筋肉をほぐすストレッチや筋力低下を予防する筋力運動、心臓や肺の機能向上させる有酸素運動を取り入れた、現在の自分の自

彦根市では「元気で長生き！」をめざし、平成23年に「コツコツ続ける金龜（根気）体操」を作成しました。この体操は、こり固まつた筋肉

はじめた人から元気に！
身体を動かす習慣をつくろう

前回、「介護予防・口コモ予防」のテーマでお伝えをしていたとおり、高齢になつてくると、筋肉などの働きが衰えてきます。しかし、運動を継続して実践することにより、筋力アップにつなげることができます。運動を始めようと思つても、「なかなか一人では続けられない」「激しい運動はちょっと…」「遠くまで通えない」とお考えの方もいらっしゃるのではないか。ではありますか。

保健師からのメッセージ 94 年代別健康づくり情報! (ライフステージに応じた健康づくり)



今回のテーマ
高齢期の健康づくり
コツコツ続ける金龜
(根気)体操

参加者からは、「肩こりが改善した」「身体がほぐれ、軽く感じる」「ここに来ると、みんなと話せるから楽しい」との声をいただいています。

【出前講座等についての
お問い合わせ先】

FAX 241-0828
市医療福祉推進課
241-5870

「継続は力なり」
「コツコツ続けて筋力アップ」

筋力の維持・向上のためには、週2～3回の体操が効果的です。仲間同士楽しく続けて、筋力アップをめざしましょう。

はじめたグループに2つの特典

①専門の職員がサポート(3回講座)
地域包括支援センターの職員が、体操の説明と注意点についてお話をさせていただき、効果的な体操のためにサポートします。
②DVD・パンフレットを贈呈
皆さんで継続していくけるよう、体操のDVDとパンフレットをお渡ししています。

「どんな体操かな？」とお思いの方、「出前講座」に伺います
介護予防の話と体操の一部を体験していただく「出前講座」を実施しています。各学区担当の地域包括支援センターの職員がお伺いします。(5人以上のグループでお申ください)。

貸衣装ニュース!!

- ・単品貸出OK!
- ・市外の方OK!

- 平成29年成人式振袖予約受付中!
- 卒業用女袴・子どもスース予約受付中!

価格表

女性	留袖・色留袖	5,000~25,000円
	訪問着・附下	8,000~18,000円
	振袖	30,000~35,000円
	袴	5,000円
	喪服・ブラックフォーマル	5,000円
	洋服(慶弔用)	1,000~6,000円
男性	紋服	6,000~8,000円
	モーニング	4,000~8,000円
	略礼服	3,000円
子ども	祝着	3,000~5,000円
	七五三	5,000~7,000円
	男児スース	2,000~2,500円
	女児ドレス・スース	2,000~2,500円

※詳細のお問い合わせは下記まで!

【場所】彦根市福祉センター別館1階 貸衣装室
(彦根市平田町670)
【営業時間】月~金曜日 8:30~17:15 (祝日は除く)
【お問い合わせ】彦根市社会福祉協議会 電話:22-2821 FAX:22-2841
<http://www.hikone-shakyo.or.jp>

(この事業で得た収益は、彦根市社協が推進する地域福祉活動に広く活用しています。)



お知らせ

多くの方々からご寄附いただいた「大人用紙おむつ」を1人でも多くの方々にお届けできるよう、「社協ひこね」を通じて市民のみなさまにお分けしますので、ご希望の方は下記までお申込みください。
*メカーやサイズ、種類、数量には限りがあり、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。

申込先⇒彦根市社会福祉協議会内 彦根善意銀行 TEL:22-2821 FAX:22-2841

申込期限⇒平成28年2月19日 ※平成28年3月上旬よりお渡しする予定です。

大好評!

社協クイズ 142

問題

地域で暮らす私たちがお互いに気にし合えるように、彦根市社協で現在取り組んでいる「あいさつプラス〇〇〇運動」さて〇の中に入る文字は何でしょう?

応募方法

はがきに、①クイズの答え、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢、⑤電話番号、⑥今月号の感想やまちのほっとな話題等をご記入のうえ、平成28年2月22日(月)(当日消印有効)までに〒522-0041 彦根市平田町670 彦根市社協「社協ひこね」クイズ係 あてご応募ください。

抽選で5名様に「ふくしの店」からすてきなプレゼントを差し上げます。

あらゆる悩みや困りごと…
ひとりで抱え込まず
お気軽にご相談ください



心配ごと相談所

毎週水・金曜日 13:00~16:00

場所:彦根市福祉センター ☎22-0294(相談専用)

★予約不要・相談無料 ★祝日の場合はお休みです。

問合せ:彦根市社会福祉協議会 TEL22-2821 FAX22-2841

くらしの困りごとの相談を、
弁護士・司法書士・社会福祉士などの専門家がお受けします。

高齢者・障がい者 なんでも相談会 in湖東地域

3月5日(土) 13:30~16:30 (受付は16時まで)

場所:彦根市福祉センター (平田町670)

★相談は無料です。当日は先着順で予約を受付けます。また、開催日の1か月前から事前予約(6名まで)もできます。

【問合せ・申し込み】彦根市社会福祉協議会 TEL22-2821 FAX22-2841

開所時間:平日8時30分~17時15分

いつもたくさんのご応募ありがとうございます。
おしくも当選を逃された方、今回はがんばって!

前回(12月1日号)の答え

買い物でした。

当選おめでとうございます♪

安部 功さん 大谷 久子さん 北村 幸子さん
藤田 通年さん 村田 嘉子さん

読者のみなさんからご提供いただいた個人情報は、当選者へのプレゼント発送・ご質問に対する回答など、今後の地域福祉活動の参考にさせていただきます。他の目的には、使用いたしません。

☆あなたのまちの「ほっとな話題」をぜひ教えてください。身近な地域が取りあげられるチャンス!